

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和4年度】

令和5年3月27日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 191-0062

所在地 東京都日野市多摩平12-26 シンデラビル3F

評価機関名 特定非営利活動法人あす・ねっと

認証評価機関番号

機構 09 - 189

電話番号 042-514-8061

代表者氏名 土方 尚功

以下のとおり評価を行いましたので報告します。



評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	崎山 信夫	経営	H2001125
	②	八戸 菜津美	福祉	H2001118
	③	西 雄一朗	福祉	H2001046
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	羽村まつの木保育園			
事業所連絡先	〒	205-0001		
	所在地	東京都羽村市小作台3-9-12		
	TEL	042-554-5586		
事業所代表者氏名	園長 橋本 富明			
契約日	2022年 7月 15日			
利用者調査票配付日(実施日)	2022年 11月 25日			
利用者調査結果報告日	2023年 1月 19日			
自己評価の調査票配付日	2022年 11月 25日			
自己評価結果報告日	2023年 1月 19日			
訪問調査日	2023年 1月 26日			
評価合議日	2023年 3月 14日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	本評価にあたって利用者調査はアンケート方式を採用した。職員調査票は郵送により評価機関が直接回収する方法を取った。また、別の報告書では、各設問の回答を数量化し、比較分析、グラフ化してアンケート集計報告を行った。利用者調査では、昨年度との比較や東京都平均との比較、属性別集計などを行って、当事業所の特徴を詳細に表示した。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。  
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

令和5年3月27日

〒205-0001 東京都羽村市小作台3-9-12

社会福祉法人 松栄福祉会

理事長 橋本 富明

TEL 042-554-5586、FAX 042-554-5862

事業者代表者氏名



1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p>
	<p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 子どもファースト 大人の都合で子どもに対応しないこと</li> <li>2) 職員は保育や技術の向上に努めること</li> <li>3) 協力し合って楽しく保育や仕事を進めること</li> <li>4) 親を支えること</li> <li>5) 地域に向けて必要な支援をおこなうこと</li> </ol>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p>
	<p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>元気に明るく仕事に取り組めること。女性中心の職場であるので家庭の事情で仕事に影響があるが、互いの立場を組んで助け合っていける集団でありたい。</p>
	<p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>子どもとしっかりと向き合えること、子どもの成長を親に伝え共に喜べること、そのためのスキルアップと成長 保育士の使命として、地域福祉にも関心を寄せること</p>

調査対象	在園児111名(89世帯)の保護者(子どもが複数通園している場合は年齢の低いほうの子どもについて回答を得る)。
調査方法	本評価にあたって利用者調査はアンケート方式を採用し、保護者などが利用者に成り代わって回答するアンケート方式で実施した。

利用者総数	111
利用者家族総数(世帯)	89
共通評価項目による調査対象者数	89
共通評価項目による調査の有効回答者数	37
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	41.6

**利用者調査全体のコメント**

本アンケートは89世帯に回答を求めたところ37世帯、41.6%の保護者などからの回答が得られた。回答率は高くはないものの、その解答「はい」と園の取り組みを評価する意見が多く見られた。特に園の特徴である周囲の自然環境を生かした川遊びや山登りなどが、保護者などから講評を得ている。また魚の解体や屋台のラーメン提供などの食育も同様の評価を得ている。しかしながら、長引くコロナ禍にて保護者などと十分なコミュニケーションを取れない状況にあることから、これらに関する設問に対しては「どちらともいえない」と回答した者もみられたが、「いいえ」と否定的な回答をしたものの数は少ないので概ねの保護者などは現状をやむなしと考えていると思われる。コロナ禍の収束を待ち、再度コミュニケーションを深めることが望まれるが、本アンケート結果を見る限りは大半の保護者などは園の対応を評価していると考えられる。

**利用者調査結果**

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	37	0	0	0
全ての回答が「はい」であった。「我が子の社会性の育ち、身体能力の向上を見ていて、日頃の保育園活動にかなり支えられていると感じます。」「園外での活動が活発で、山登りをしたり、サイクリング・鬼ごっこ等、子ども達が伸びのびと遊び、体力の向上につながっていると思う。」との意見が寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	37	0	0	0
全ての回答が「はい」であった。「季節の行事や、その時々で子ども達が興味のある事柄を活動に取り入れて、工夫のある保育をしてくださっていると感じます。」「年長になると、みんなでサイクリングに行くため、年中の頃から自転車の練習をして、自然と補助なしで乗れるようになり、子ども達に無理なく遊びの中で教育してくれるところが良い。」との意見が寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	35	2	0	0
「はい」が35名、「どちらともいえない」が2名であった。「季節や行事にまつわる食材や献立を取り入れ、様々な趣向を凝らした食事で、大変ありがたく思っています。」「迎えに行くと、真っ先に「今日のお昼は～食べたよ!」と、嬉しそうに報告してくれます。」「園長先生がラーメン屋さんをしてくれたり、1匹丸ごと鮭を解体してそれを給食に出したりと、食育につながっていると思う。」と園の対応を評価する声が多かったが、比較的自由におかわりができることで食べ過ぎを危惧する意見もあった。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	36	1	0	0
「はい」が36名、「どちらともいえない」との回答が1名あった。「戸外遊びが充実していて、子どもも楽しいと言っています。」「自然と関わる機会は、十分確保されていると思う。」と言った園の取り組みを評価する意見が殆どであったが、コロナ禍により活動が制限されていることを残念に思っているとの意見も寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	31	2	0	4
ほとんどの回答が「はい」であった。「お迎え時刻の変更や休みの件など、事前にお伝えすることで、担任の先生がしっかり把握して、適切に対応していただけます。」との意見が寄せられた。また、「どちらともいえない」「非該当・無回答」と応えた者の中から、保育の園長時料金について柔軟に対応してほしいとの意見が寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	28	9	0	0
「はい」の回答が8割程度であった。「どちらともいえない」と回答した者から、園内の構造や設備について不安を感じている様子が覗えたが、全体の満足度は「大変満足」「満足」と回答していることから深刻な危惧ではなく、より安心して子どもを通わせるための提言と受け止めるのが妥当と考えられる。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	27	8	1	1
「はい」の回答が8割程度であったが、「いいえ」の回答も1名いた。「行事が予定日に出来なかった際の予備日設定や代替え案など、できる範囲で考えてくださっているのので、親も子どもも行事を楽しめています。」との意見もあれば、「仕事が忙しくなかなか休めない。仕事の都合は人それぞれなので、致し方ないことと承知しています。」と言った意見もあった。すべての保護者の意向に添えない課題であるが、参加できない保護者とのコミュニケーションが大切であることがアンケート結果から覗えた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	30	4	3	0
「はい」の回答が大多数をしめたが、「いいえ」「どちらともいえない」との回答もあった。否定的な意見には「その年度の担任によります。」や「ゆっくりお話する時間がないように思う。ちょっとしたことだと、声を掛けづらい。」といったものがあった。コロナ禍によりコミュニケーションが取りにくいこと状態にあるが「よく相談に乗ってもらうが、しっかり考えて答えてくれる。」との意見も寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	30	6	0	1
「はい」の回答が大多数をしめたが、「どちらともいえない」「非該当・無回答」の回答もあった。原因としてコロナ禍により保護者などの園内の立ち入りが制限された状態で詳細な内部の様子が分からないとの意見が寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	32	4	0	1
「はい」の回答が大多数をしめ、「いいえ」と回答した者はなかった。「どちらともいえない」と回答した者からは「職員が友達感覚で話をしてくれる。」「挨拶をしない職員がいる。」との改善を求める意見が寄せられた。事業所の対応が必要と考えられる。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	32	2	2	1
「はい」の回答が32名に対して、「いいえ」が2名いた。「ケガをした場合は、お迎え時に状況と処置・対応について、担任の先生から説明があるので、しっかり見てもらっていると感じています。」と言った意見がある一方、「ちょっとした擦り傷など、帰宅後子どもから報告を受けないと知らないことがある。」との意見もあり、対応の統一が求められる結果となった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	28	4	0	5
8割近い回答が「はい」であり、「いいえ」と答えた者は皆無であった。「駄目なことはちゃんと叱ってくれている。」と園の対応に感謝する意見もあったが、「実際にトラブルが起きたことがない。」「園内での子どもの様子を知る機会がないので、分からない。」との意見もあったが、アンケート結果からトラブル発生時も適切な対応がなされると考える保護者が殆どであると考えられる。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	33	3	0	1
「はい」の回答が大多数をしめ、「いいえ」の回答は皆無であった。「子どもの気持ちを受け止めた上で対応してくださっているのので、子どもも安心して保育園生活を送ることができているように思います。」「ママから離れないのですが、担任の先生が迎えに来てくれたり、担任の先生がいなくても、遊びに誘ってくれるので安心して仕事へ行けます。」と園の対応を評価する意見が寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	28	5	2	2
8割近い回答が「はい」であであったが、「いいえ」と答えた者から「最初に同意したかもしれないが、HP上で子ども達の写真を載せているので、パスワード等入力して、関係者だけが見れるようにしてほしい。」「ノートに職位内容や就寝・起床時間を記入しているのですが、更に朝忙しい時間に同じ内容を記入するボードがあること、プライバシーも気になります。」との意見もあり、園として対応について検討を行う必要があると考えられる。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	30	4	2	1
「はい」の回答が30名、「どちらともいえない」「いいえ」「非該当・無回答」合わせて7名であった。「具体的に活動内容や様子・ねらい・方法などを都度伝えてくださって、理解しやすいです。」「保育内容に関する説明をそもそも受ける機会がない。」との相反する意見が寄せられた。園が説明を行っていないとは考えられないが、否定的な意見を持つ保護者への働きかけは必要と考えられる。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	28	4	1	4
「はい」との回答が多数をしめた。「園のルールを丁寧に説明してくれる。」「不満ないです。」との回答から、「あまり心を開いて話そうという気持ちにならない。」「位相が恣意様で無理そう。」「(要望を)伝えたところ謝罪と言いつつのみであった。改善策を聞きたかった。」との意見も寄せられた。園との見解が分かるところではあるが、対応についての工夫が求められる保護者もいるので状況の改善を期待したい。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	18	8	2	9
「はい」の回答が本アンケートで一番少なく5割程度であった。しかしながら「いいえ」の回答も2名であり、「始めて知った」との意見が一つだけ寄せられた。本設問の内容が保護者に良く周知されていない様子が窺えた。しかしながら、本アンケート全体の傾向から設問に該当するような苦情が発生していないため、保護者の関心が薄いことが集計結果に反映されたと考えるのが妥当と思われる。				

I 組織マネジメント項目 (カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
1	カテゴリー1	
	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 <b>7/7</b>
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	カテゴリー1の講評	
	子どもファーストを理念に、心身ともに健やかに成長できるよう保育している 保育園の基本方針は子どもファーストの立場から、一人ひとりが保育目標である「じょうぶ身体 豊かな心」を持った子供に成長するように保育をしている。大人が押し付けたり、決めつけたりすることなく子どもたちがもつ成長する力に期待することを大切にしている。自然豊かな環境の中で楽しく遊んだり、子どもたち同士での遊びを通じて感受性や基本的なルールを学べるように園は子どもたちを見守っている。また、保護者などに対しても子育てに対する支援を行いながら寄り添い、子どもファーストで育児を行うことの大切さを伝えている。	
	職員同士が良好にコミュニケーションを取りながら、子どもたちに寄り添っている 園では職員が互いにコミュニケーションを取りながら助け合い、良好な関係を維持しながら保育業務行えるように心掛けている。社会福祉法人としての使命を追求すべく、コミュニティーカフェ「カフェメリ・メロ」を開設することで子育て中の親子だけでなく高齢者などが集う拠点を経営している。こうして地域の求めに応じた社会貢献で、子育て中の親子が安心してくつろぎながら子育て支援のプログラム参加でき、高齢者に向けた管理栄養士によるヘルシーランチの提供や300円のテイクアウトランチなどを提供し社会的使命を果たしている。	
	園の運営は案件の内容により、各職位が参加する会議などで決定され周知されている 園における重要な意思決定は理事会において審議している。理事会において採決された案件は職員会議などの機会に周知され、職員一人ひとりに共有されている。また、保護者などに対しても園だよりやメール、掲示物などの方法を用いて重要案件の決定結果を決定経緯とともに伝えている。園の意思決定やその過程を職員や家族などに共有するには、その運営の透明性を担保するために重要と考えている。しかしながら、保育についての重要事項の決定が職員と園長の話し合いで決まることがあるので、全体への周知が不完全になってしまうことが課題となっている。	

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-2の講評		
<p>園長会などに参加したり、コミュニティーカフェを運営して地域の課題を収集している</p> <p>園では園長が市内の保育園の園長会に参加したり、議員懇談会を実施したり、各種の懇談会などに参加することで地域の保育を始め社会福祉事業に関する情報を収集している。また、保護者などや法人が運営しているコミュニティーカフェ「メリ・メロ」の利用者などからも意見を募り、保育サービスの質の向上に取り組んでいる。さらには職員からも希望があれば園長が面談を行うこともある。園では幅広く意見を聞きながら地域の保育や社会福祉事業の発展の一翼を担っており、今後も市内の福祉へのニーズに応えた活動が継続されることを期待する。</p> <p>都の社会福祉協議会の研究などに参加して、保育の質の向上に貢献している</p> <p>保育の質を向上させるために園では、東京都の社会福祉協議会の調査研究テーマ「地域に信頼されるための保育園」に参加し、委員長として研究をおこなった。このほかにも男性保育士の会「ホップの会」を主宰したり、市の子育て支援課と共同で市民に向けた「パパ講座」を毎年開催している。また町内会フェスティバルの中心となってコンサートを開催し、複数の保育園の男性保育士を取りまとめてボランティア活動を休日などに行うなど地域貢献に大きく寄与している。こうした活動は園の運営に負荷を変えるものではあるが継続されることが望まれる。</p> <p>園の目指す保育の実現のために職員も参加して、園の運営の計画を作成している</p> <p>園では毎年度、職員との話し合いながら「今年の保育目標」を決めている。こうした園の取り組みはそのつど保護者にも伝えている。園では主任や全主任を交えた月案会議をクラスごとに毎月実施し、保育の進捗状況や今の問題点などについて意見を交わしているが、常に園の基本方針となっている子どもファーストを職員間で共有し、互いに協力しながら保育を進めている。また、中長期計画を策定はその必要性を認めているものの、短期計画の準備に追われ十分に対応できない状態にあるが、職員は協力しあい可能な範囲で事業計画の作成に参加している。</p>		

3 経営における社会的責任			カテゴリ-3
サブカテゴリ-1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

### カテゴリ3の講評

#### 虐待の防止に園をあげて取り組み、利用者などからの苦情への対応の体制を整えている

昨今保育園の不適切な保育が問題となっているが、園では虐待が発生しない環境をつくるために虐待防止チェックリストの掲示、園だよりなどで虐待の疑いがある場合は保育園が介入することなどの対応を保護者などに周知している。また、子ども家庭支援センターと連絡を密にとり、家庭内での虐待への対応も行い、疑いがあった場合は記録や写真なども使用している。また保護者などからの苦情に対しては「苦情処理第三者委員会」を組織し、園内に意見箱を設置することで、いつでも保護者などが苦情や要望を寄せられるよう体制を整えている。

#### 園の活動をホームページなどで公開し、保護者などが保育に参加する機会を設けている

園では子どもたちの活動の様子を毎日ホームページを更新することで公開している。多くの保育園が子どもたちの顔写真などはパスワードも設定し保護者など限られた者しか閲覧できないようにしているなか、一般にも公開している。また、0歳児のクラスは保護者などが保育に参加できるよう、事前に申し込みを行うと保育の体験をすることができる。その他、図書コーナーに情報公開のスペースを設けて毎年多くの子どもたちが利用できるよう園を開放したり、保育士の養成校の指定を受けて実習生を積極的に受け入れて、学生に学びの場を提供している。

#### 地域の福祉ニーズに応えるために、さまざまな活動に積極的に参画している

園では保育園単独としても地域に向けて活発に活動をしているが、法人としてコミュニティーカフェ「メリ・メロ」を運営して子育てに完ぺきな親はいないので、助けあって子育てをしようという趣旨のノーパディズパーフェクトのプログラム・離乳食講習・フードバンクなどを開催して地域の福祉活動に貢献している。また園長は社会福祉法人評議員などを務めていることから、市内の保育園連携の中核を担いさまざまな活動に取り組んでいる。防災、小学校との連携、看護師会などの研究会に参加して地域の福祉へのニーズに応えられるように努めている。

カテゴリ-4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ-1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>園を取り巻くリスクの洗い出しを行い、優先順位をつけて対応する対応を整えている</p> <p>園を取り巻くリスクを洗い出し、被災時や感染症発生時での園の事業継続について優先順位を立てている。園ではそれぞれの保育園が独自に事業継続に対する取り組みを行うより、行政や他の保育園と協働して実効性のある対応を行うことを重視して、市内の私立保育園協議会と連携して共同のBCPの策定にも取り組んでいる。また、園では園舎が新築されたことにより、防災面での強化がなされ地域で災害が発生した際にも活用できる施設となった。こうした状況のなか備蓄品を充実させて、非常時においても園が社会貢献できるよう体制を整えた。</p> <p>事故や感染症発生時への対応を明確化して、安全に活動できるようにしている</p> <p>園では子どもたちの散歩時には、そのリーダーと見守り礼を利用して安全に園外に出られるようにしている。また、園内で大きな事故があった時は職員会議や打ち合わせでその概要や再発防止などを検討しながら全職員に周知している。また、園では感染症対策にも力を入れおり、換気などを徹底し、子どもたちが登園の際には検温と手指の消毒を励行している。職員に対しては週2回抗原検査と週1回PCR検査を実施しており、特に新型コロナに関しては新たな情報が得られた場合には連絡ノートや朝礼、昼の会議などで職員同士が共有している。</p> <p>法人で定める個人情報や、機密が求められる園の情報などの管理規定を設けている</p> <p>園では子どもたちや保護者などの個人情報や、園の運営に重大な影響を及ぼす情報についての管理規定を設けてその運用を行っている。園のパソコンにはパスワードを設定して適切な情報管理に努めている。また、紙媒体による情報は施錠可能な書庫にて厳重に保管することでその漏洩を防いでいる。また職員や実習生にも園で知れた個人情報について個人情報守秘義務誓約書に署名を求めている。園では子どもの顔をホームページで公開しているがこれについて否定的な保護者などもおり、こうした保護者などに園の方針を理解もとめる努力をしている。</p>		

カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> おし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> おし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> おし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> おし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> おし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> おし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> おし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> おし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> おし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> おし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> おし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> おし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> おし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> おし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> おし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

外部研修などに職員を積極的に受講させ、園内でその共有を行っている

園では正規・不正規にかかわらず希望する職員に対して、研修に参加できる体制を整えている。そのため職員には毎年度初めに研修に対する希望や一人ひとりの目標と計画を提出させている。職員が研修を受講した際には職員会議で研修報告の時間を設けて、その研修内容などの情報を共有している。こうした発表の場を設けることは、研修を受けた職員が他の職員に対して講師的な立場で自分が研修を行うことで、他の職員との共感性や同僚性などが生まれるきっかけとなっている。また、会議後もこの記録は自由に閲覧できるようになっている。

変化する働き方に対応したキャリアパスを設け、安心して勤務できるよう配慮している

園では社会的に変化する働き方改革に対応できる職場環境づくりに取り組んだ。出版社が発行する「保育者の働き方改革」に園での取り組みを掲載して進取に富んだ活動の紹介を行った。また、就業規則の見直しも行い、同法人の姉妹園とプロジェクトチーム組織して社会保険労務士を交えた話しあいを実施した。結果として中間的な正規職員「チャイルドケアスタッフ」制度を制定し、時間短縮や働きながら子育てしやすい環境の整備とキャリアを下げずに継続する制度を創設した。保育以外の業務時間の確保など課題が残るが働きやすい職場づくりに努めている。

保育士の募集に力を入れて、次年度4名の保育士を採用することができた。

当園においても職員の人員不足は、園の運営に支障をきたす状況にある。多くの業務を抱えストレスを感じる職員もいる中、園では保育士の採用に力を入れてきた。コミュニティーカフェの運営やノーパディズパーフェクトプログラムの実施や男性保育士の会を主催などを通じた社会貢献に加えて、子どもたちの顔写真をホームページに掲載していることが、園に就職を希望する者の動機となっているとのことである。子どもたちの写真の掲載は個人情報や防犯の観点から反対の声があるもの事実だが、こうした良い影響も考慮した評価が必要と考えられる。

カテゴリ7	
7	事業所の重要課題に対する組織的な活動
サブカテゴリ1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<b>評価項目1</b> 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
<b>【課題・目標】</b> 働きやすい環境改善 <b>【取り組み】</b> 園では市全体の子ども数の減少により経営困難にならぬための動きと、離職する職員に対する環境改善と工夫のために働きやすい環境改善に取り組んだ。市内の子ども数の減少については令和3年度4月に0歳児の定員割れがおきた。これは少子化に加えてコロナ禍における子ども預け控えがあったことが考えられる。こうした環境下で安定した事業の継続、職員の離職を防ぐための環境改善が急務となった。具体的にはキャリアアップ手当1. 2. 3の支給や奨学金返済制度の創設、園内の研修体制の充実を行った。また、就業規則の見直しもを行い、同法人の姉妹園とプロジェクトチームを組織して社会保険労務士を交えた話しあいを実施した。	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<b>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</b> <b>【取り組みの結果】</b> 同法人の姉妹園と協同して働き方プロジェクトチームを創設し、社会保険労務士も参加して話しあいを進めた。合計4回の会議を持ちパート職員と正規職員の中間的な立場を作り働きやすい勤務時間の設定をし、チャイルドケアスタッフといわれる子育て中の職員に対する就業規則に盛り込んだ。さらには奨学金補助・家賃補助などを引き続き継続することで働きやすい職場づくりを行った。 <b>【振り返り・今後の方向性】</b> 職員は子どもたちへの保育に加え園の運営に積極的に参画し、十分な人員体制が整わない状況にあっても献身的に勤務指定者が多い。こうした職員の意欲をさらに向上させるためには、各種制度が利用できる選択肢が増えて良い結果となった。今後は引き続き「働き方」について職員の意向と話しあいながらミスマッチを少なくする必要がある。	
<b>評価項目2</b> 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
<b>【課題・目標】</b> コロナウイルス対策 <b>【取り組み】</b> いまだ続くコロナ禍での保育により、子どもたちの育ち遅れのないように配慮しながら感染防止を図る必要から、今年度もコロナウイルス対策に力を入れた。引き続き、送迎時には保護者などを室内に入れず子どもの受け入れを玄関先でおこない、また園の行事の縮小・延期・中止した。職員に対しては全員が週2回の抗原検査と週1回のPCR検査を実施して、その結果を毎週に保護者へお知らせした。子どもたちに対してもその様子を毎朝の健康チェック表に記入したり、独自に抗原キット、消毒器具、サーモセンサーカメラを購入した。さらには職員のアルコール消毒の徹底とマスク着用、黙食を徹底して感染者時や必要な情報共有は一斉メールにて保護者などタイムリーに配信した。	

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p>	
<p>【取り組みの結果】          取り組みの結果、第7波・第8波ともコロナの流行があり、特に第8波ではクラス閉鎖を実施した。こうした状況においても、幼児は積極的に戸外で活動し山登りやサイクリングに出掛けた。また、竹のぼりなども上手に登れる子どもについては目立った体力の低下は見られなかった。また乳児のコロナウイルス感染についてはマスク着用や送迎時の担任以外の職員に対する接触の影響については検証ができない状態にある。</p> <p>【振り返り・今後の方向性】          感染状況を注視しながら徐々にコロナ以前の状況に戻していくことを検討している。この間開催できなかった保護者会活動を可能な限り早く再開することで、保護者同士・保護者と職員のコミュニケーションが取れるように環境設定をしていく方針である。また、乳児の育ちに関心を持ち、必要であれば個々の遊びや活動を保育に取り入れていく予定である。</p>	

## Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>毎月発行する園のパンフレットや情報誌を、関連機関などに置いて情報提供をしている</p> <p>園が毎月発行する「えんだより」や情報誌などを、市や関連機関などに配布して園の情報を利用希望者などが容易に入手できるようにしている。特に同法人が運営するコミュニティーカフェ「メリ・メロ」には子育て中の保護者から高齢者が幅広く集い、そこにもこれらのパンフレットをおいている。また、「メリ・メロ」独自のパンフレットなども発行して、地域の人びとに親しまれているカフェとなっている。日ごろから利用希望者などと気軽に交流できる環境を整備して、園の紹介だけでなく育児などに対するさまざまな情報提供を行う方針が高く評価される。</p> <p>ホームページを毎日更新して、利用希望者などに園の取り組みを紹介している</p> <p>ホームページで園の情報を公開しているが、当園のホームページの特徴は毎日クラスごとの活動や給食のメニューを掲載していることにある。日々の業務に多忙な職員が毎日こうした情報を発信することは、大変な努力が必要となりと考えられる。しかし、園では毎日情報を発信することで常に子どもたちの様子を詳細に観察したり、より良い保育の提供について職員が自らを振り返る気づきを与えているとの考えからこの取り組みを継続している。園のホームページは利用希望者だけでなく、園に就職したいと考える者に園の魅力を伝えるため役立てている。</p> <p>利用希望者などの希望により、園の見学を受け入れ個別に対応している</p> <p>園では利用希望者などの希望により、園の見学に随時対応している。見学は事前に予約することで個別に対応することとしている。毎年、当園は日頃の地域活動やホームページ、さらには在籍・卒園児の保護者などからの紹介などの理由から多くの見学希望者が園の見学をしている。見学時には園の特徴となっている周囲の自然環境を生かした活動や、畑作業や食育などの保育内容を説明し、期待をもって保護者などが子どもたちを入園させられるように案内している。こうした園の対応により、毎年多くの利用希望者などが入園を希望する状態を維持している。</p>		

サブカテゴリ2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2の講評			
<p>入園児には担任の職員が丁寧に面談して、保育内容などを説明している</p> <p>当園は長年の地域における保育実績により、多くの利用希望者などが入園を希望している。入園を希望する保護者などには入園児に担当となる職員が二人で面談の対応をしている。これは面談時には、子どもが入園することに期待と不安を保護者などがあわせ持っているものと考え、より広い視野に立って保護者などの意向や子どもに対する情報を聞き取るようとする園の考えによる。こうした面談の結果、必要があれば改めてリーダー層の職員や園長などが面談を行い保育内容などを説明することで、安心して子どもを入園させられるよう配慮している。</p> <p>園のしおりを入園児に保護者に配布して、園の基本ルールなどを説明している</p> <p>入園児には保護者に園のしおりを配布して、保育目標である「じょうぶな身体 豊かな心」もった子どもを育てるため理念の紹介や、園の基本ルールや、感染症の罹患時の対応などから、延長保育・紙おむつサブスクリプション利用時の料金表などが記されている。園のしおりの内容は広範にわたり、一度で理解できるのも手はないので、必要に応じて持ち物リストなどを配布して新たな生活に子どもと保護者などが混乱しないように配慮している。特に第一子の子どもを預ける保護者などは相手の気持ちになって担当職員が丁寧な対応を心掛けている。</p> <p>進学予定の小学校と連携を取り、卒園後も園との繋がりを持てるよう対応している</p> <p>子どもの在園時から、進学予定の小学校と連携を取り卒園後も一貫性のある教育を受けられるよう配慮している。子どもたちの進学先はほぼ一つの小学校であることから密接な連携が可能となっている。また、コロナ禍前は在園中に子どもたちが栽培したじゃがいもを、卒園後の年の6月か7月に「メリ・メロ」に集い、茹でて食べる「じゃがいも会」を開催していた。職員は卒園後の子どもの様子や、抱えている課題についての相談を受けてきた。園ではコロナ感染の収束に合わせて再開する意向であるが、「じゃがいも会」が再開されることを期待する。</p>			

サブカテゴリ3

3 個別状況の記録と計画策定 サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12

評価項目1  
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3  
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4  
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ3の講評

年間指導計画を中心に、一人ひとりの成長に合わせた保育を行っている  
園ではその年の年間教育を中心に、クラスごとに月案会議や職員会議などで、子どもたちの成長に合わせた保育の提供されているかを検討している。前の月や週の良かった点や反省すべき点を職員間で共有したり、時には一人の子どもに焦点を当て職員間で意見交換を行いながら、一人ひとりに適切な保育が提供できるようにしている。また、園では日々の子どもの様子やクラスの様子の記録を詳細に記録させている。こうした方針は職員のアウトプット能力を向上させ、園の会議や計画作成・アセスメントなどの質の向上にも大いに役立っていると考えられる。

子どもの成長の様子や課題を記録し、保護者などとも共有している  
子ども一人ひとりの成長の様子や課題を個人経過記録に記録している。子どもの計画達成状況や、提供した保育についての良かった点、反省点も合わせて記録を行い、必要に応じて計画の変更なども定期的に職員間で検討している。また、保護者なども園の所定の連絡帳で自宅と園での生活状況や健康面の変化について共有している。特に乳児に対しては毎日保護者と連絡帳による情報共有を行っている。園では保護者など不安や疑問を抱え込むことがないように、送迎時には職員が積極的に保護者に話しかけており、保護者からの好評を得ている。

定期的な会議などの開催や、丁寧な引き継ぎの励行で職員間の情報共有を行っている  
園では各クラスの運営は担当職員が主体的に行い、日々のミーティングや業務の引き継ぎを行っている。一日の業務の早番から遅番まで正確にその日のクラスの予定や、特記すべき子どもの様子などを「朝ノート」に記載して職員間で共有している。園では「子どもを中心に」にクラス担当が主体性を持って行動できるようリーダー層の必要以上の介入は行っていないが、月に一回、クラスごとの個別の状況を話し合う機会を設け、園長やリーダー層、看護師・栄養士といった専門職も出席して、クラス担任の困りに対して助言をしたり、話し合う機会を設けている。

サブカテゴリ5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ5の講評			
<p>個人情報の管理や外部機関への提供の目的や内容などを、保護者などから同意を得ている</p> <p>入園時に保護者に対して園の個人情報について管理や、急な体調不良時に医療機関などに提供する情報の内容などについて説明して同意を得ている。特に当園ではホームページに閲覧の制限を設けずに子どもたちの様子を、毎日更新しているのものでその掲載について保護者などにその趣旨などよく理解してもらうことに力を入れている。また、職員に対しては規定を設け子どもの顔を必要以上に鮮明に撮影しない。氏名や住所などが特定されないようにする。子どもたちの体の露出に注意して写真を掲載するなどのルールによりプライバシーの保護に努めている。</p> <p>子どもが羞恥心を感じる状況を作らないよう、細心の注意を払い職員は対応を行っている</p> <p>子どもが登園中に羞恥心を感じるようなことがないように職員は常に細心の注意を払っている。具体的な対応としては他者に肌を見せることを嫌がる子に対しては、着替える場所を変えている。また、排泄の失敗があった場合にもトイレ内に、外から見られることなくその処理と洗身ができる設備を整えている。また、園のプールは屋上にあるが、外部からプール遊びの様子を見ることができないよう、屋上のフェンスにシートを貼ることで子どもの羞恥心やプライバシーを保護している。子どもや親が安心して過ごせるよう体制を整えている園の姿勢が評価される。</p> <p>一人ひとりの子どもの意思を尊重して、個別の対応が必要な場合には柔軟に対応している</p> <p>「じょうぶな身体 豊かな心」を保育目標に園では「子供を中心」とした保育を行っている。職員は子どもたちの主体性を尊重して無理強いすることもなければ、野放しにすることもなく、ルールを踏まえた上で自由を楽しめる環境作りに努めている。押しつけや決めつけをせず子どもに期待して、成長を待つことを大切にしている。更に発達障害やそれが疑われる子どもに対しても個別の事情に対応して柔軟な保育を提供している。こうした保育の実践には保護者などの参加も必要であり、円とともに子ども成長を喜び合える関係作りにも力を入れている。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
6 事業所業務の標準化			
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>園の業務に必要な各種マニュアルを整備して、日常的に活用できるようにしている</p> <p>園では日ごろの業務内容や身だしなみ・言葉遣いなどのマニュアル類から、感染症などへの対応、畑作業や鶏の飼育についてなど、広範にわたるマニュアルを整備している。これらのマニュアルはファイリングされ業務手順の確認が必要な際、職員は随時閲覧できるようになっている。しかしながら、職員アンケートの結果、これらのマニュアルが十分に周知されていない様子が窺えた。職員はこれらのマニュアルを十分に理解していることも考えられるが、マニュアル類の見直しを職員会議で検討しているとのことなので、必要に応じ更新されることが望まれる。</p> <p>職員間で業務の見直しについて話し合い、質の高い保育を提供に取り組んでいる</p> <p>新年度を迎えると園では、職員会議や検討会にて業務の標準化や現状のマニュアルについて見直しをしている。また、竹のぼり、川遊びなど園が独自に実施している活動についても見直しを行い、取り組んでいるプロジェクトについても職員の意見を多く取り入れている。更に保護者などの実施した行事などのアンケート結果なども、その年度の園の運営方針に反映させている。園では全職員参加型の運営を標榜して、職員の主体的な参画を求めている。こうした運営体制で子どもたちに質の高い保育を提供するために、職員間で活発な意見交換が行われている。</p> <p>「子供を中心」としてルールを踏まえながら、各クラスごとの自由に運営されている</p> <p>園ではあくまで「子どもを中心」として、各職員の創意工夫で各クラスがそれぞれの特色をうち出したクラス運営がなされている。基本的なルールを踏まえれば、担当職員の裁量が認められている。教室の飾りなどもクラス担当職員が工夫して子どもたちが楽しめるように工夫されている。また、昆虫好きな職員が担当するクラスでは教室に虫かごを用意して、さまざまな昆虫の飼育を行ったこともある。職員一人ひとりの工夫で一人ひとりがさまざまな体験をしながら成長していくことは大切なことであり、こうした運営体制が当園の魅力となっている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ4	
		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子ども一人ひとりの全体的な姿を把握して、その特性にあった保育を提供している</p> <p>園では一人ひとりの特性に合わせた保育を目指して、子どもの全体的な姿をそれぞれの職員が保育を行っている。園は子どもたちが自ら成長していく力を持っていることを前提に、ルールを踏まえたとでそれぞれが自由を楽しんだり大人の決め付けることなく一人ひとりの成長を期待しながら見守る事を大切にしている。そのため、子どもの成長発育にあつた規則正しい生活を送れるよう保護者などと園の職員が協力しながら保育を行っている。園では豊かな自然環境の中、子どもたちが豊かな健康な身体と感受性を養いながら成長できるよう寄り添っている。</p> <p>園での活動で子どもたちが、さまざまな経験をしながら成長できるよう保育している</p> <p>とくに低年齢児には園はゆるやかな担当制を採用した個別の対応で、一人ひとりの思いが遂げられような愛着関係を持つことができるように保育をしている。また、園では家庭では子どもたちが経験することができないダイナミックな活動や、川や山など豊かな自然環境の中で遊ぶことで得られる気づきを大切にしている。園は野生でない自由がある。温室でない培養がある。放任でない自由がある。抑圧でない管理がある。強要性でない期待があるとの理念のもと、大人の価値観によらず子どもたちが自ら成長していくを期待した保育を提供している。</p> <p>子どもたちが他者を思いやり、個別の配慮が必要な子どもに配慮した対応をしている</p> <p>園では子どもたちが他の子どもたちの気持ちを理解し、互いに思いやりを持つことができるよう保育をしており、異年齢の子どもと活動することで相手との気持ちを考える時間をつくっている。また、年齢や障害の有無に関わらず子どもたちを受け入れるインクルーシブ保育を実施して、個別の配慮が必要な子どもの特性にあわせた保育をしている。発達支援に対しては市と連携し、臨床心理士による巡回を利用して助言を受けながら、子どものにあつた個別の保育を行っている。園がまた、必要に応じて療育施設に担任も一緒に同行して情報共有をしている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>当園時には看護師が門で出迎え、子どもたちの様子を保護者などから聞き取っている</p> <p>園では看護師が毎朝園の門に立ち登園してくる子どもたちや、その保護者などに挨拶して迎え入れている。子どもや保護者などの様子を見ながら日々変わらずに生活しているかの確認を行っている。現在コロナ禍で保護者は園内に立ち入ることはできず、園舎の玄関で子どもを園に預けることになっているが、コミュニケーション不足にならないよう可能な限り職員は神殿の自宅での様子や保護者の話を聞くようにしている。子どもの様子は連絡帳で園と家庭での子どもの健康状態や摂食、排泄状況などの情報を保護者などと共有しながら保育にあたっている。</p> <p>規則正しい生活を送ることの大切さ理解し、日課や生活習慣が身につくよう保育している</p> <p>子どもたちが園での遊びや食事、午睡・排泄などを通じて規則正しい生活を送りながら、一人ひとりに応じた日課や生活習慣を身に付けられるように園は力を入れて保育をしている。保護者には当園前には朝食を摂り、なるべく排便を済ませてから登園するように働きかけている。また園では園内での遊びや散歩、食事などの日課を日々こなしながら生活習慣を確立しながら、社会的なルールや他の子どもたちへのいたわりの気持ちや優しさを育てている。園では家庭内だけでは体験できないダイナミックな活動を重視して、子どもの成長を見守っている。</p> <p>降園時には保護者などに、一人ひとりの子どもの様子を伝えている</p> <p>コロナ禍により園児の送迎場所を玄関にしたことで、直接担任と保護者などが話せる機会が減ったことは否めないが、可能な限り降園時に保護者などが子供を迎えに来た際には、直接その日の様子を伝えるようにしている。また、仕事などの都合で保護者が来園できず、祖父母などが迎えにきた場合はあいでも連絡帳に子どもの活動について記載することで、保護者とのコミュニケーションがはかれるよう努めている。また、園では家庭状況を踏まえ食事を育児的都合で十分に取れていない子どもには、補食を出したり乳児は月齢ごとに合わせての提供をしている。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもたちの自主性を育むために、職員が創意工夫しながらクラスの運営をしている</p> <p>クラス担任の職員が子どもたちの自主性を育むために、それぞれ創意工夫の上クラスの運営をしている。職員一人ひとりが子どもたちに興味関心を持ってようクラスの飾り付けなども行っている。具体例として昆虫が好きな職員は子どもたちにも昆虫に興味を持って持ってほしいとの気持ちから、クラスで昆虫を育てることもある。園ではそれぞれのクラスのカラーを良くあらわした運営を行っている。子どもファーストの視点から子どもたちと職員が協力して自主的なクラスづくりが園の特徴となっており、今後の同様の運営が継続されることが期待される。</p> <p>豊かな自然中で遊びながら「じょうぶな身体 ゆたかな心」を育てよう保育している</p> <p>園の立地する地域は山や川など豊かな自然に囲まれており、子どもたちがこうした環境の中で遊びながら園の保育目標である「じょうぶな身体 ゆたかな心」を育てるように保育している。子どもたちは山登り、川遊びなどを楽しみしており、食育の観点からは畑で野菜をつくり、収穫して調理に参加している。更にはキャンプを実施を通じて子どもたちが互いに協力しあうことの大切さを学ぶ機会を設けている。園ではこうした屋外での積極的な活動を提供しながら子どもたちが楽しみながら成長できるよう、安全に対する配慮を万全に期している。</p> <p>子どもたちのコミュニケーション能力を高め、互いの気持ちが分かるように支援している</p> <p>園では個別の配慮が必要な子どもたちに、一人ひとりに適した方法で自分の伝えたいことを表現できるように支援を行っている。こうした場合には早期発達支援士の資格を持つ職員を中心にソーシャルスキルトレーニングなどを通じて子どもたちが他者の気持ちを考えることや、自分自身を言葉で表現できるように発達を促している。また、そうした配慮を要しない子どもに対しても、対人関係を通じて迷惑を掛けたり掛けられることもあり、こうした経験を通じてコミュニケーション能力を高め、他者の気持ちがわかるよう子どもに育つよう支援している</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもたちが関心を持てる活動を実施して自らが参加したいと思えるよう工夫している</p> <p>園では子どもたちが積極的に関心を持ち、進んで参加したいと思えるような活動の実施していくことに力を入れている。子どもファーストの視点に立ち職員はプロジェクト会議を組織して園全体で活動の方向性を考えている。園内には園長を始め職員たちの手づくりのテーブルや椅子が置かれていたり、暖炉に使う薪も職員が割っている。こうした、職員たちの姿をみながら子どもたちは物づくりに興味を持ったり、食育では屋台のラーメン店をつくり公園で食べることで食や仕事などに楽しみながら関心を持てるよう園はさまざまな工夫をしている。</p> <p>子どもたちが互いに協力しあい、達成感をもてる機会を設けることに力を入れている</p> <p>子どもたちが行事を通じて互いに協力しながら達成感を得ることで自分に自信を持ち、他者を尊重しながら社会性を持てるよう、園ではさまざまな行事を開催している。豊かな自然環境を利用したキャンプ、お祭りで地域の人びとの交流する機会を持ち、子どもたち同士が協力しながら運動会や発表会を開催してきた。それぞれの行事において子どもたちは家庭では体験できない他の子どもとの意見の対立や、思い通りにならない事態への対応などを経験することで、社会的性を身に付け「じょうぶな身体 ゆたかな心」を育て成長できるように寄り添っている。</p> <p>保護者などに参加を呼びかけ、子どもたちともに楽しみを共有できる機会を設けている</p> <p>園では子どもと一緒に保護者が遊ぶ機会を持つことが、心身ともに健全な子どもの成長に必要なことと考えている。こうした考えから保護者などにも主体的に園の活動に参加を促し、他の保育園がコロナ禍による活動制限をしているなかキャンプや川遊びを行っている。こうした活動は子どもだけでなく保護者なども経験がないことも多いので世代を問わず楽しい時間を過ごしている。一度参加した保護者などは次の機会にも進んで活動への参加を希望することであった。子どもが心身ともに健康に育つため、保護者など一体となった保育の提供が評価される。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>一人ひとりの保育時間にあわせた対応で、子どもが安心して過ごせるよう工夫している</p> <p>園では当日の朝に急な延長保育の依頼を受けても可能な限り保護者などの都合を優先して保育を受けている。保護者などの帰宅が遅く、いつも自分が最後に帰宅することへの孤独感をもつ子どももいることから、登園中に不安やストレスを感じないよう過ごすために可能な限り、それぞれのクラスに担任の職員を配置している。また職員は個別の家庭状況に配慮して食事を家庭で十分に摂らせることができない子どもに対しては、食事時間以外に補食を出したり、乳児は月齢ごとに合わせての提供することで育ちざかりの子どもたちの支援をしている。</p> <p>長い保育時間の中でも保育形態が変化しても、子どもが楽しく過ごせるよう配慮している</p> <p>長い時間の園で過ごす子どもに対しては、可能な限り自分の年齢のクラスで過ごす時間を設けることで、環境の変化に関するストレスを軽減できるように対応している。しかしながら勤務体制により異年齢と合同で過ごす場合は、他のクラスの子と協力しながら楽しい時間を過ごせるように職員は対応している。園ではこうした機会に異年齢集団での活動で年下の子どもをいたわる気持ちや、年上の子どもと関わることで得られる目標や憧れの気持ちがそれぞれに育つように子どもたちと関わりを持ちながら、一人ひとりの成長を見守っている。</p> <p>土曜日の勤務体制により、担任でない職員と触れ合うことで社会性を養っている</p> <p>土曜保育は勤務体制の問題から、子どもの担任ではない職員が保育にあたることもある。乳児期の子どもはどうしても人見知りしてしまう傾向があるが、今後成長していくにつれ多くの人びとと交流していくため養うべき社会性を育む機会ともなっている。園では当然のこととして職員だけでなく子どもたち同士でも人見知りによるストレスやトラブルを防ぐために細心の注意を払いながら、慣れない職員や異年齢の子どもとの関わりを大切にしている。園では子どもの成長する力を信じて、一人ひとりが社会に適應するための経験できるよう対応している。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>年間を通じた献立づくりや、好き嫌いをなくバランスよく食べられるよう配慮している</p> <p>園では栄養士を中心に献立てづくりを行い1年を通して、さまざま食材を使ってバラエティに富んだ食事を提供するようにしている。またおやつ市販のものではなく、園内で手づくりのものを出すことで子どもが食に関心を持てるようにしている。ここ数年の傾向としてご飯はふりかけや丼ものを好まず白米のみを好み、また、ラーメン・スパゲッティも麺のみ食べて具材を残すというこだわりを持つ子が増えている。こうした傾向に対して園は、子どもたちに無理強いしない範囲でさまざまな食材をバランスよく食べられるようにしていく工夫が求められている。</p> <p>アレルギーを持つ子どもや、その時々体調に合わせた食事を提供している</p> <p>一人ひとりの子どもの年齢やアレルギーの有無やその日の体調に応じて、園では個別の配慮をしながら食事の提供を行っている。園の食事について家庭の雰囲気にならげ、変化にとんだ季節感に富んだ献立づくりに努めている。温かいものは暖かく冷たいものは冷たく提供し、食材は可能な限り無添加の物を使用し、食器類は陶器のものを使いスプーンなどは子どもの手の大きさにあったものを選んでいく。また、アレルギーを持つ子どもには代替食を提供し、下痢などの体調不良時にはその時々健康状態にあわせた食事を子どもたちに提供している。</p> <p>行事食や保育調理を実施することで、子どもたちが食に関心を持てるようにしている</p> <p>園では行事食や保育調理に力を入れている。子どもたちが自分で調理をすることで食べることも興味を持ち、食べ物を大切にすることを育み食べたことのない食材も食べてみようと思うきもちを持てるように努めている。園では畑でいろいろな野菜を育て収穫して梅ジュースづくりや白菜漬けなどを作っている。毎年サケの解体を行い命をいただくことへ感謝の気持ちを持てるようにしたり、屋台ラーメン、おもちゃつき、園内の暖炉を使ったストーブメニューなど子どもたちが食に興味をもてるよう工夫し、園外の活動時は弁当を子どもたちの散歩先に配達している。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもが自分の健康に関心を持ち、病気やけがをしないように努めている</p> <p>園では子どもたちが自分の健康や安全に生活することに興味を持てるように看護職員を中心に子どもへの働きかけをしている。自然の中で遊ぶことでけがをすることもあがるが、転んだ時などは傷口を水で洗い流すなどの対応を周知している。園では毎朝は看護師が門に立ち、登園する子どもたちの健康をチェックし必要に応じて保護者などにアドバイスをしている。また、登園中には看護師が朝と夕がたに一人ひとりの健康確認を行うとともに、定期的に視力検査、手洗いうがい指導も実施して子どもたちが自分の健康に関心をもてるように働きかけしている。</p> <p>園医と密接に連携を取り、個別の配慮が必要な子どもには療育機関と連携している</p> <p>園には持病を持ち定期的を受診を必要とする通う子どもはほとんどいないが、園医と連携を取り一人ひとりの健康状態を確認している。また、医療的な配慮を要する子どもに対して看護師を中心に受診状況などを確認している。また個別の配慮を必要とする子どもに対しては療育機関との連携を取りながらその発達状況に応じた対応などの助言を受けている。園では現在のところ病児保育は行っていないが、体調が悪くなり保護者が迎えに来るまでの園児への対応の方法や、それまでどのように看ることが子どもにとって安心できるかなどを検討している。</p> <p>園では一人ひとりの健康維持に向けた、取り組みに力を入れている</p> <p>園では子どもたちが安全に園での生活を送ることができるように、全職員に3年に一回、救急救命講習を受講させて、平成20年からAEDを園内に設置している。また、長引くコロナ禍に対応して換気や手指消毒などを引き続き徹底して感染防止に努めている。また、園児の良質な睡眠を取れるよう年齢ごとに適した寝具を用意するとともに、午睡中に職員が所定のチェックシートを用いたり、睡眠センサーを活用して子どもたちの状況を確認している。園で子どもが健全に成長できるよう、保護者などに対して適宜健康維持のために必要な情報を提供している。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目8の講評			
<p>保護者などと子どもの様子を連絡帳などで共有して、健康状態などの変化を確認している</p> <p>園では0歳から2歳までは毎日、3歳から5歳までは必要に応じて連絡帳を用いて保護者などと家庭と園での生活状況を共有している。連絡帳には加齢のできごと、子どもの機嫌などから摂食・排泄状況など各家庭でのプライベートな事柄を記載して園と報告をしあっている。園は連絡帳を家族などとのパイプ役として捉え、子どもたち一人ひとりの貴重な成長の記録として機能するように職員は丁寧な記載を心掛けている。こうした連絡のやり取りで園と職員との信頼関係を築いて、子どもの成長に必要な規則正しい生活が維持できるよう努めている。</p> <p>保育に保護者などが積極的に参加できるように、さまざまな機会を園は設けている</p> <p>園の保護者などは、他園に比べ父親が子育てに関心を持っている者が多いと考えられるが、就労の都合などでほとんど送り迎えもできない家庭もあるので、園は何らかの形で子育てへの関心を持てるように工夫している。完璧な親はいないので、助けあひながら育児を行うノーバディズパーフェクトのプログラムの実施や市と共同して「パパ講座」を毎年開催している。こうした取り組みで保護者などに育児への不安を払拭して興味や関心を持ってもらい、園とともに子どもの成長を喜びあえる機会を設けている。今後もこれらの活動が継続されることを期待する。</p> <p>園の運営を開かれたものにするために、保護者などが自由に見学や参加できる</p> <p>子どもたちに対する保育の様子を保護者などに見てもらうことで、保育姿勢や園の方針を知ってもらうことを園の方針としているため、保育参加や見学などは保護者などに公開している。これまでコロナ禍によりこの取り組みは休止してきたが令和4年11月より再開しており、保育参加・見学の要望は父親からも多く寄せられている。特に0歳児のクラスには保育参加についての掲示があり、積極的に保護者の参加を促している。また、園では保健だよりなどの紙媒体だけでなく、や懇談会などの場で看護師と子どもの健康状態について話す時間も設けている。</p>			
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目9の講評			
<p>地域貢献に力を入れコミュニティカフェなどの運営で、住民に交流の場を提供している</p> <p>園では地域貢献に力を入れており、子育て世代から高齢者まで幅広い人々が地域で交流できる場を提供している。その一例として園の運営法人がコミュニティーカフェ「メリ・メロ」を運営してノーバディズパーフェクトのプログラムを実施したりして地域の人びとに対して貢献している。現在コロナ禍にてこれまで実施してきた活動を制限せざるを得ないが、開かれた園運営で子どもたちが多くの人びとと触れ合う経験から学びを得て成長できるような環境を整えている。今後もこうした方針を継続させて、子どもが地域の一員として成長していくこと期待する。</p> <p>近隣の小学校の見学を行うなど、子どもたちの将来を考えた保育を提供している</p> <p>園の立地する市の面積は市内でも小さいほうであり、卒園した子どもの進学先もほぼ同じ学校となっている。こうしたことから園では、子供たちの将来を考えた保育の提供のために近隣の小学校との交流に力を入れている。進学先の教員とも在園児から一人ひとりの生育状況などの情報共有を行い、子どもの学校見学には職員が同行している。地域柄から関連機関とも連携を取りやすいとも考えられるが、子どもの長期的な成長に園が積極的に参画する姿勢は子どもだけでなく、保護者なども大いに安心できるものと考えられるので継続していくことが望まれる。</p> <p>子どもたちが近くの公園を老人会の人びとと一緒に掃除をするなどの活動をしている</p> <p>園では近くの公園を使用している老人会の皆さんと一緒に、子どもたちも掃除に参加して落ち葉拾いなどを行っている。また、地域のイベントにも参加し、年長組と職員が園を代表してソーラン節や踊りなどを披露している。こうして地域の人びとと触れ合うことで世代を問わず協力しあうことの大切さや、演目を披露することで得られる達成感を持つようになっている。また、園では今後の取り組みとして保護者などにも、住民との交流への参加を促し「地域でともに生きている」という意識を持ってもらえるように動機付けを行っていく方針である。</p>			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	2-1-1	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している
タイトル①	コミュニティーカフェの運営や、市内の関連機関と連携して地域の福祉に貢献している	
内容①	園を運営する法人がコミュニティーカフェ「メリ・メロ」を運営して育児悩む保護者たちの勉強会・離乳食講習などの子育て支援に加えて、高齢者に対する給食事業。男性保育士が交流する機会を設けている。また、園長が市内の保育園の園長会に参加したり、議員懇談会を実施したり、各種の懇談会などに参加することで地域の保育を始め社会福祉事業に関する情報を収集し、さらに市の子育て支援課と共同で市民に向けた「パパ講座」を毎年開催している。園では職員の協力を得ながら、こうした活動を継続的に行うことで地域社会に大いに貢献している。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している
タイトル②	子どもたちが豊かな自然の中で、多くのことを遊びを通じて学びを得られるようしている	
内容②	子どもたちが豊かな自然環境の中で川遊びや山登り、キャンプを経験することで「じょうぶな身体 ゆたか心」を持った子どもに成長するよう保育を提供している。特にキャンプなどは子どもたち同士が協力することが必要となるため互いを思いやりながら、達成感を得られることから園ではこうした活動に力を入れている。こうした活動は保護者なども主体的に活動を希望することもあり、職員とともに行事を盛り上げている。保護者にとってもキャンプなどは初めての体験であることもあり、親子の絆を深める機会を提供する園の対応が評価される。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-5-2	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している
タイトル③	子どもの意思を尊重し、一人ひとりの成長を保護者などと喜び合える保育を提供している	
内容③	園では子どもの生涯にあたる人間形成の基礎を培う重要な時期に、一人ひとりが心身ともに健やかに成長できる環境づくりを大切にしている。「子どもを中心」として基本的なルールを踏まえる限り、無理強いすることなく、また、何ごともしつこくすることなく子どもたちが成長する姿を保護者などと喜び合えるよう保育を提供している。「じょうぶな身体 豊かな心」を持てるよう竹のぼりや川遊びなども取り入れ、家庭ではできない体験、自然と触れ合う機会を提供することで、子どもたちの健全な心身の発達を願う、園の活動が大いに評価される。	

No. 特に良いと思う点	
1	<p><b>タイトル</b> 長引くコロナ禍においても感染防止に努めながら、子どもの体力や運動能力を低下させることなく保育ができた</p>
	<p><b>内容</b> コロナ禍であっても園内でクラスターが発生することなく通常の保育が実施できたことから、子どもたちの体力や運動能力に低下がみられなかった。園では子どもたちの育ち遅れのないように配慮しながら感染防止を図る必要から、今年度もコロナウイルス対策に力を入れた。引き続き、送迎時には保護者などを室内に入れず子どもの受け入れを玄関先で行うなどの対応をした。また、懸念されていた運動不足による子どもたちの体力の低下は見られなかった。園では感染状況のフェーズに応じてコロナ禍以前の園運営に徐々に戻していく方針である。</p>
2	<p><b>タイトル</b> 地域との関わりを大切に考え、子育て支援から高齢者の居場所づくりまでさまざまな社会貢献を行っている</p>
	<p><b>内容</b> 園と運営法人は、地域の人びととの交流を重視して地域貢献事業に積極的に取り組んできた。特にコミュニティカフェ「メリ・メロ」は地域の子育て支援を目的に立ち上げたが、高齢者もそこに集うようになり幅広い世代にとって貴重な社会資源として地域に定着した。園では「メリ・メロ」を活用して、地域の保護者などへの子育て支援としてノーバディズパーフェクトを開催して進行役を中心に保護者などが子育てについての悩みや疑問を共有する機会を設けている。さらに男性保育士の交流を目的とする「ホップの会」主催するなどの社会貢献を行っている。</p>
3	<p><b>タイトル</b> 働き方改革に取り組み、職員が働きやすい職場環境やキャリアアップの仕組みを整えた</p>
	<p><b>内容</b> 働き方改革で就業規則の見直しも行いキャリアアップ手当1、2、3の支給や奨学金返済制度を創設したり、園内の研修体制の充実を行った。同法人の姉妹園とプロジェクトチーム組織して社会保険労務士を交えた話し合いを実施した。結果として中間的な正規職員「チャイルドケアスタッフ」制度を制定し、時間短縮や働きながら子育てしやすい環境の整備とキャリアを下げたり退職を余儀なくされることなく就労を継続する制度を創設した。今後も保育以外の業務時間を確保するなど課題が残るが、引き続き職員が働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p>
No. さらなる改善が望まれる点	
1	<p><b>タイトル</b> 保護者などとのコミュニケーション方法について、改めて再考して子どもの様子や園からの情報発信を円滑に行う必要がある</p>
	<p><b>内容</b> 園では今なお続くコロナ禍のために、保護者などとのコミュニケーションの機会が制限されている。特にコロナ感染が拡大し以降に入園した子どもの保護者などとは、家族会などへ参加もなく個別に担任の職員との情報共有や、一斉メールによる園からのお知らせを伝えている程度である。園ではコロナ感染の収束後は早々に保護者会を再開して、保護者などと職員が対面で交流しながら信頼関係を築きたいと考えている。しかしながら、それにはまだ時間を要すると思われるため、紙媒体や口頭以外にも有効なコミュニケーション方法を検討する必要がある。</p>
2	<p><b>タイトル</b> コロナ禍により職員会議などの開催が十分にできない状況にあるが、感染状況に応じて順次再開していく必要がある</p>
	<p><b>内容</b> 現在コロナ禍にて十分に職員会議などの開催が制限されている。これによる職員間のコミュニケーション不足などで業務に支障をきたす状況にはない。しかしながら、平場で職員同士がよりよい保育のための意見交換や、それぞれが感じている課題や悩みなどを共有する機会が以前より少なくなっている。園ではこの状況をやむなしとしながらも、職員同士が以前のようにコミュニケーションを取りながら、園を活性化させたいと考えている。今後はできるだけ早期に職員が意見交換できる機会を設けて、業務の質の向上に取り組むことが望まれる。</p>
3	<p><b>タイトル</b> 職員の採用活動が困難となっているが、職員の負担を考慮し勤務体制を構築していく必要がある</p>
	<p><b>内容</b> 当園においても人材の募集が十分にこなされておらず、多くの業務をこなさなければならない職員に負担がかかっている。来年度新規に4名の職員を予定しているが、ゆとりある勤務体制の構築がまだ困難となっている。園では中途退職職員や傷病休暇の職員がいたため、勤務のシフトや土曜当番を他の職員を勤務させることで対応しているので、休憩やノンコンタクトタイムなどを十分に取ることができない状態となっている。幸い協力的な職員が多いので園の運営は可能となっているが、次年度は職員体制を整えるべく職員募集を行うことが急務となっている。</p>